

1月13日：テト前の手じまい売りで下落

月曜日のベトナム株はテトを前に相場は手じまい売りが広がり下落した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.28%下落し965.84ポイントで取引を終えた。

VN指数は先週0.35%ほど上昇していた。

出来高は1億4700万株で売買代金にして2.76兆ドンであった。

205銘柄が下落したのに対し123銘柄が上昇した。57銘柄が変わらずだった。

その他それぞれ大中小型株で構成される3指数は0.25-0.66%ほど下落した。

VN30指数は0.42%下落し881.79ポイントで取引を終えた。

VN30指数の中ではベトナム投資開発銀行(BID)、VPバンク(VPB)、ベティンバンク(CTG)、ジェマデプト(GMD)、ノブランド不動産(NVL)、ビナミルク(VNM)などは下落した。

BIDは12%上昇した後の2.3%安だった。

CTGは10.5%上昇した後の1.5%安だった。

VPバンクは5.5%上昇した後の2.1%安だった。

銀行セクターはセクターごとでも最も下落した。

サイゴンハノイ証券によると、投資家はテト休暇を前に手じまいをしているようであるとのことだった。

そのため直近上昇した銘柄の利益確定に動いているため、値下がりをしている。

流動性も低く、投資家は短期的な市場のトレンドに悲観的である。

VN指数は950-970ポイントで上下すると同証券は予想した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.08%上昇し、102.30ポイントで取引を終えた。

同指数は先週合計で0.17%下落していた。

出来高は 2670 万株で売買代金にして 2774 億ドンほどであった。

ディスクレーマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。